こんにちは市民病院です

「患者様満足度調査について」

看護部

当院では接遇改善の目的で平成24年、28年度に「患者様満足度調査」を実施しました。調査は外来、入院で5日間実施しアンケートによる5段階評価をポイント化しました。ここでは「看護師への満足度」について、前回との比較を報告します。

外来では「質問や相談のしやすさ」「診察や検査についてわかりやすい説明を受けた」「言葉遣いや態度」の順に、1.7～0.7ポイント上昇。一方「技術・方法に対する安心感」「身だしなみ」の順に0.5～0.4ポイント低下。入院では「質問や相談のしやすさ」「言葉遣いや態度」「技術・方法に対する安心感」「身だしなみ」「診察や検査についてわかりやすい説明を受けた」の順に全ての項目で10.8～3.8ポイント上昇。全体的に良い評価を頂き看護部としては今までの努力が少しは実になってきたのではないかと嬉しく受け止めています。

しかし、入院で高評価を得られた理由として、高齢化により患者様ご自身ではなくご家族の回答が比較的多かったことが多少影響していると考えます。また、回収数は外来が全体の86％、入院が14％であり高評価であった入院より、やや低評価であった外来での結果をしっかりと受け止めておく必要があると考えています。

今回の結果に満足することなく、真摯に受け止め、今後は看護技術や看護の提供方法について自己研鑽に励むことや、常に看護師として然るべき身だしなみに配慮し、看護部理念である「患者さん中心の看護」を常に目指します。

みんなで活かして楽しい毎日！

飛騨の薬草を学ぶ教養講座

メナモミ

寒暖差が大きい気候が一因となって飛騨で発症率が高い脳血管障害。後々障がいが残ることが多く本人と家族を長く苦しめます。

メナモミはそれに対して予防と改善効果があることから、ぜひその素晴らしさを知って活用してもらいたいと、市内の薬草グループ「山水女」の皆さんが長年メナモミの普及に取り組んでこられ、着実に名前と効能が浸透しています。その取り組みは昨年春に「現代農業」に掲載され、いまだに全国から問い合わせがある程です。

気象台のここ1ケ月の飛騨市内の統計データを調べると、ほとんどの日で1日の気温差が10℃から20℃もありました。村上先生は、このような大きな気温差は体に多大な負担がかかり、体はミネラルを大量に消費して正常に保とうとします。その時ミネラルが足りないと体はうまく機能しなくなり、体調を崩したり、病気になったりすると言われました。メナモミはミネラルが豊富なところもおススメの理由です。

活用部位は葉っぱです。乾燥した葉を煎じて飲むと、風邪、できもの、脳卒中、動脈硬化、脳溢血予防、特に手足の麻痺に効果があります。でも葉っぱは苦いので、お茶にするには抵抗があるかもしれません。それならば、生葉をハチミツと一緒にミキサーにかけてペーストにすると不思議と苦さを感じなくなります。そのペーストはカレースプーン一杯分程度を牛乳で溶いて飲むと抹茶オーレのようで美味しく、毎日飲むのも苦になりません。または、乾燥葉を微粉末にし、ハチミツでこねて丸薬にするとお手軽ですし、携帯もできるので旅行などに持っていくことができます。

メナモミは山では同じところで育つ訳ではないので探すのが難しいのですが、栽培なら容易です。しっかり堆肥を入れて土づくりをすればプランターでも大きく育ちますし、種が落ちて翌年そこから芽が出ます。これならわざわざ取りに行かなくてもいいので楽ですよね。

メナモミを身近で育てて美味しく体に取り入れ、地域特有の病気に備えましょう。

（村上光太郎「薬草を食べる」より）

問 総合政策課　TEL 0577-73-6558